

JR東日本労働組合長野地本

2017年3月20日 No. 4

JR東日本労働組合長野地本
青年女性委員会

発行者 馬場 康
編集者 情宣部

青年女性委員会NEWS

2017春季生活闘争

悔しい回答について議論しよう！

3月15日に経営側より、私たちの要求とはかけ離れた回答が出されました。これまで3回の団体交渉の結果、「一律」の要求実現や、グリーンスタッフ基本賃金への加算を引き出せたものの、要求6,000円との乖離の大きさや、国鉄改革を経験し、技術継承を担ってきたエルダー社員に対する要求も回答として触れられていません。本部情報「2017春闘NEWS」を参照頂くと分かるように、会社発足から30年間で営業利益は1.3倍、経常利益は4.2倍、当期純利益に至っては8.3倍と大きく成長しています。労働の質が向上し、会社が成長したにも関わらず、生活の質や労働環境は向上しているとは言えません。その上度重なる効率化施策により、社員一人ひとりへの負担は増加しています。経営側は、世間の動向を鑑みたと、「1,000円も」という立場での回答ですが、私たち労働者からしてみれば「1,000円しか」という認識であり、これでは労働意欲を失い、士気が下がるのは言うまでもありません。今回の回答に対し、青年女性委員会に留まらず、職場の若手全体で考え、今後もJR労働者に相応しい正当な配分を求め運動を創り出していきましょう！

一人ひとりが総括し
全組合員で取り組もう！！